



クリフ・スターンズ氏 (1989-2013)

1989年の初当選以来2013年まで、フロリダ州第6区より12期、24年間米国連邦下院議員を務めた。議員時代は通信事業、科学技術、サイバー・セキュリティ、国際貿易などの分野で活躍。現在、米国議員経験者協会（FMC）の会長を務めている他、APCO Worldwide 顧問、ジョージワシントン大学政治マネジメント大学院評議員、および非営利組織である多文化メディア・通信・インターネット協議会理事等を務めている。

スターンズ氏は、通信、技術及びインターネット小委員会では共和党側の代表として活動。通商・製造及び貿易小委員会にて委員長を務めた際には、消費者のプライバシーやデータの安全を保護するための法律を成立させている。また、監視・調査小委員会議長、エネルギーと貿易委員会委員、退役軍人問題委員会委員などを歴任。

議員活動を始める以前、スターンズ氏はCBSとKotula 広告会社での勤務を経て、その後フロリダにモーターやレストランを展開するStearns House, Incを起業し、会長兼社長に就任した。それ以前は米国空軍にて大尉として、航空宇宙工学のプロジェクト・エンジニアとしても4年間勤務し、その功績を称えられ、空軍称揚賞、および安全保障分野のシビリアンに贈られる最高の荣誉である空軍協会ウィリアム・スチュアート・サイミントン賞を授与されている。ジョージ・ワシントン大学で電気工学学士を取得。



ジェイソン・アルトマイア氏 (2007-2013)

2007年に初当選以来2013年まで、ペンシルバニア4区より3期、6年間米国連邦下院議員を務めた。在任中は、教育と労働力委員会や運輸・インフラ委員会の委員を歴任。現在は健康問題を扱う非営利組織であるフロリダ・ブルーの上席副社長を務めている。

アルトマイア氏は、中道派として民主・共和両党と良好な関係を維持し、多くの法律を成立させたことで知られた。議会では200回以上発言を行い、5年半の間すべての投票に参加し、29の法案を成立させた。アルトマイア氏はヘルスケア政策通として知られ、数々のメディアで紹介されている。

議員活動を行う前は、ピッツバーグ大学メディカル・センター、米国病院協会にて勤務し、ジョージ・ワシントン大学で非常勤教授も務めた。ジョージ・ワシントン大学で健康管理(Health Administration)に関する修士号を取得。